

共に学び 絆を深め 互いに高め合う  
～ 笑顔 意欲 自信 ～

第9号

埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校 新座柳瀬分校  
進路だより R6.11.27 発行



## 「備えあれば憂いなし」 体験に行く日の準備は万全ですか？

11月20日（水）にデュアルシステムによる職場体験の第3回目が終了しました。この日の天候は雨。ここまで3回中2回が雨の中での出発となっています。秋は比較的降水量の多いシーズンでもあります。出発時に起こりうるトラブルを想定して、万全な準備をしておくことの大切さについて今一度確認しておきたいと思います。

### 雨の日の備えは大丈夫？

11月20日の朝は登校時間くらいから雨が降り出し、出発準備の頃に本降りになったのですが、「雨具（カッパ）を持っていない」という相談に来た生徒が複数いました。前日の天気予報では午後からの雨予報でしたが、実際は雨の降り出しが午前になりました。天気予報は前日のものだけでなく、当日の朝にも必ずチェックすることを心がけましょう。また家を出る時に、実際に空を見上げて雲の様子などを確認することも大切です。雨の心配が少しでもある時は、雨具の用意はもちろん、濡れたものを拭くタオルや（天候の具合によっては）替えの靴下を用意するなど、準備を万全にしておきたいところです。

### 自転車のこまめな点検を！

このところ朝の通学時に自転車がパンクしたり、チェーンが外れたり、といった登校時の自転車のトラブルを耳にすることがあります。これらの出来事はたまたまデュアルの日ではなかったのですが、特に通学で毎日自転車に乗っている人は、自転車の各パーツは消耗品であるということ意識して、しっかりとこまめに点検をしておくことが大事です。

→今後、現場実習が始まると、家から直接実習先へ向かうことになります。自転車の故障や（交通機関利用者は）交通状況の乱れなどのハプニングに備えて、あらかじめ対応を考えておくこと、連絡先や連絡方法を事前にきちんと確認しておくことが今まで以上に大切になってくると思います。



## 対人スキルに関わるキーワード⑥ ★ 聴く（聞く）力 ～後編～ ★

前回の進路だよりで「きく」には「聴く」「訊く」「聞く」の3種類があって、特にコミュニケーションの場面では「相手の言いたいことを受け止める／相手の伝えたい思いを理解しようと進んで耳を傾ける」＝「聴く」ことが大切であると書きました。ウェブサイトなどでは「傾聴力」という言葉で色々なテクニックが紹介されていますが、あまり考え過ぎるのも逆に不自然になってしまうので、まずはシンプルに「相手が話をするペースに合わせる」ことから意識して始めてみるのがいいでしょう。その上で、適度な相槌（あいづち）や、慣れてきたら、会話の流れの中で「相手が使ったキーワードとなりそうな言葉」を声に出して繰り返してみるのも、相手の話の理解を深めるよいきっかけになると思います。

一方で、相手の発する言葉を正しく聞き取る（聞く）ことや、分からないところを質問する（訊く）ことももちろん必要です。「きく」には3種類の意味があると言いましたが、それらは全く別々のものということではなく、やはりお互いが関連し合っているのですね。